



報道発表資料の配付日時 2月17日(木) 15時00分

発表項目(行事名)	北海道野菜セミナー2022の開催		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>加工業務用野菜及び新規野菜の取組を通じ生産の裾野を広げ、さらにブランド力を高めることにより、道産野菜の一層の振興を図るため、本セミナーを開催します。</p> <p>1 日時 令和4年2月22日(火) 14:30～17:30</p> <p>2 会場 北海道立道民活動センター(かでの2.7) 4階大会議室(Web併催) (札幌市中央区北2条西7丁目道民活動センタービル)</p> <p>3 参集範囲 生産者、農協、商協、ホクレン、中央会、農業試験場、北海道農政事務所、市町村、北海道など</p> <p>4 内容 「ブロッコリー直播栽培の取組並びに加工専用販売の構築に向けて」 講師：音更町農業協同組合販売部青果課長 山岸 晃雄 氏 その他、試験紹介及び事例紹介等</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	道民の皆様に、道内の野菜生産に対する関心を高めていただけるよう、当日の取材をよろしくお願ひします。		
他のクラブとの関係	同時配付	同時レク	(場所)

担当(連絡先)	農政部 生産振興局 農産振興課 野菜係 (担当者：佐藤) TEL：ダイヤルイン011-204-5436 内線27-707、27-731		
---------	--	--	--

北海道野菜セミナー2022開催要領

1 開催趣旨

本道の野菜は、主要野菜においては、全国におけるトップランナーとして重要な位置づけにあるが、加工業務用野菜及び新規野菜の取組を通じ生産の裾野を広げ、さらにブランド力を高めることにより、北海道野菜の一層の振興を図る。

2 開催日時 令和4年(2022年)2月22日(火) 14:30~17:30

3 会場 北海道立道民活動センター(かでの2.7)大会議室(Web併用(Zoom))

4 主催 北海道農政部

5 参集範囲 生産者、農協、商協、ホクレン、中央会、農業試験場、北海道農政事務所、市町村、北海道など
※定員100名(会場) 定員になり次第、募集を締切らせていただきます。

6 次第

- (1) 14:30 開会
- (2) 14:30~14:40 あいさつ
- (3) 14:40~15:25 講演「ブロッコリーの直播栽培の取組並びに
加工専用販売の構築に向けて」
音更町農業協同組合 販売部青果課長 山岸 晃雄 氏
- (4) 15:25~16:00 試験紹介「新規野菜「ゆきあまケール」の取組について」
(地独)北海道立総合研究機構 農業研究本部
上川農業試験場 主査 高濱 雅幹 氏
- (5) 16:00~16:10 休憩
- (6) 16:10~16:30 農業改良普及センターにおける新規野菜の取組紹介
留萌農業改良普及センター「加工用さつまいも」
- (7) 16:30~16:50 農業改良普及センターにおける新規野菜の取組紹介
十勝農業改良普及センター「加工用キャベツ」
- (8) 16:50~17:20 試験紹介「災害に強い建設足場資材を利用した
園芸用パイプハウス」
(地独)北海道立総合研究機構 農業研究本部 企画調整部
北海道原子力環境センター駐在 主査 菅原 章人 氏
- (9) 17:20~17:30 あいさつ
- (10) 17:30 閉会

7 新型コロナ対策

- (1) 会場内の感染防止策として、入室人数の制限、密集の回避等へご協力いただくとともに、手指消毒、マスクの着用等、「新北海道スタイル」の遵守にご協力願います。
- (2) 今後の感染状況によっては、Web開催のみまたは中止となる可能性もありますので、あらかじめご了解ください。
- (3) 1つおきに空席を配置し密にならないよう配慮しますので、ご承知願います。
- (4) 北海道コロナ通知システムを導入し、会場入口にQRコードを掲示しますので、ご協力願います。

8 Webで参加される方へ

- (1) 資料及びZoomのID・パスワードをメールで事前送付しますので、出席者報告時に必ずメールアドレスをご記入願います。